



師第一如

稲田中学校だより NO. 8
平成29年8月25日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 豊かな人間性と社会性を身につけたたくましい稲中生

○自ら学ぶ生徒（知） ○思いやりのある生徒（徳） ○健康で働く生徒（体）

2学期がスタート ～始業式校長式辞でこんな話をしました

8月25日（金）から2学期が始まりました。始業式では、校長式辞の他、1年代表：大賀遥斗さん、2年代表：小平徹さん、3年代表：保志琴美さんが「夏休みの反省と2学期の抱負」を堂々と発表してくれました。校長式辞は以下のとおりです。

35日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。今日こうして元気な皆さんの顔を見ることができてうれしく思います。この夏休みはどんな夏休みでしたか？今年の夏は8月上旬の梅雨明け以降、雨の日が多く夏らしくない陽気が続いていましたが、そんな中、部活動や特設駅伝や特設合唱に頑張っている皆さん、少年の主張や英語弁論大会に向けての練習に頑張っている皆さんの姿を数多く見ることができました。その成果はいろいろな面で必ず現れると思います。本当にご苦労様でした。

今日は、世界陸上ロンドン大会で4×100mリレーのアンカーを走った藤光謙司選手のお話をします。

藤光選手は、4×100mリレーの予選では出場していませんでしたが、決勝ではケンブリッジ飛鳥選手に代わってアンカーを走り、日本チームは見事銅メダルに輝きました。

藤光選手は、リオ五輪のリレーでは補欠メンバーに回り、今大会の予選でも補欠で出場機会がありませんでした。リオ五輪や世界陸上ロンドン大会では出場する他の選手を、きめ細かくサポートしたり、最年長者としてリレーチームをリードしていたりしたそうです。そんな藤光選手が、決勝の数時間前にアンカーとしての出場を告げられ、しかも日本のお家芸として国民が期待するリレーのアンカーを務めるプレッシャーは相当なものだったと思います。

そんな藤光選手が走り終えたとき、次のようなことを言っていました。

「世界大会は何があるかわからない。いつ出場しても100%の力を発揮できるように、全ての走順で準備していた。」

もし皆さんが藤光選手の立場だったら、どうせ走れない状況を予想してしまい、モチベーションを保つことができただしょうか。突然の出場を告げられて、100%の力を発揮できる藤光選手の精神力の強さに驚きました。

また次のようなことも言っています。

「予選を通過してくれたケンブリッジの分、サポートしてくれたサニブラウンの分まで走った」リオ五輪で控えに回されて、「走れない辛さ」が誰よりもよくわかる分、メンバーから外れた2人の気遣いを忘れない藤光選手の人柄の良さ、思いやりに感動しました。

そんな藤光選手だからこそ、勝利の神様が銅メダルのご褒美をくれたのではないのでしょうか。ちなみに、藤光選手の好きな言葉は、校長先生が1学期の終業式に話した「継続は力なり」だそうです。

成果が出ない時や努力が報われないときでも、あきらめるのではなく、万が一に備えて、いつでも100%の準備をしておくことの大切さを教えられたような気がします。

さて、今日から始まった2学期は1年の中でも一番長い学期で82日間あります。この2学期には、新人戦や秋華祭、松明あかしなどと大きな行事がたくさんあります。特に今年は、10月に引越しが行われ、新しい校舎で学校生活を送ります。小中一貫教育校開校に向けて、「輝け 稲田っ子 学園を彩る 華となれ」のスローガンのように、一人一人が輝き、新しい伝統を作ってほしいと思います。

また3年生にとっては進路決定に向けて、毎月実力テストがあったり、進路選択をしたりしなければなりません。それだけ大切な節目の2学期ですから、いつも言っているように、この2学期をどのように生活していくか、「短期目標」を決めて中期・長期の目標に近づけるようにして下さい。

平成30年4月 稲田小中一貫校（仮称）開校（施設一体型小中一貫校）

小中一貫教育スローガン 「輝け 稲田っ子 学園を彩る華となれ」

初めてのサマースクールを実施

7月26日(水)～31日(月)に夏休みの学習会「サマースクール」を今年度初めて実施しました。この学習会は、生徒の学習意欲や学習習慣を身につけることによって学力向上の目指すことや夏休みの基本的な生活習慣を確立することを目的とし、福島県教育委員会から2名のサポートティーチャーを派遣していただき、本校の先生方と協力しながら、数学と英語の指導をしていただきました。



多くの生徒が参加したサマースクール

延べ76名の生徒が参加し、冷房の効いた快適な教室で、夏休みの宿題や進路対策教材の学習を行っていました。

今後は、引き続きサポートティーチャーの協力を得ながら、放課後の学習会や冬休みにウインタースクールを実施する予定です。

稲田中生の夏休みの活躍

この夏休み、生徒は文武両面で各種大会・コンクールに出場し、頑張りました。

◎福島県中学校体育大会バドミントン競技

女子団体 稲田中0-2松陵中 惜敗

女子ダブルス 稲田蓮・保志琴美組

1回戦 対猪苗代中 惜敗

県大会団体戦
バドミントン部



◎福島県吹奏楽コンクール

中学校小編成の部 銀賞

◎須賀川市少年の主張大会

優良賞 水野沙紀「努力は形に残る」

◎バドミントン 2017B-1チャレンジ選手権

女子シングルス

2部 第3位 保志琴美

4部 ブロック優勝 小抜明愛

5部 ブロック優勝 保志彩乃 柳沼美蕾 佐藤陽菜

女子ダブルス

4部 準優勝 小抜明愛・近藤らら(須一中)

5部 準優勝 倉持音々・●●●●●●

優良賞の表彰
水野沙紀さん



◎岩瀬地区小中学校音楽祭第1部(合唱)

金賞 課題曲「願いごとの持ち腐れ」

自由曲「IMBENEI-魂の夜明け」

◎福島県卓球選手権大会(カデットの部)県南予選

第6位 小川竜二(県大会出場)

◎東北新人野球大会岩瀬支部予選

稲田中4-5天栄中・岩瀬中 惜敗

金賞受賞の
特設合唱部



次も頑張ります 応援よろしくお願ひします

英語弁論大会

○日時 8月29日(火) 9:45～

○場所 大東公民館

○出場生徒

暗唱の部 関根美咲「Life and Nature」

田村実夢「The Wisest in the World」

創作の部 常松ひな「Sparkling Possibilities」

中体連支部駅伝競走大会

○期日 9月1日(金)

○場所 鏡石町鳥見山陸上競技場周辺コース

○スタート 女子 10:15 5区間 12.2km

男子 11:30 6区間 18.2km



稲田中学校ホーム http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=202

←左のQRコードからもご覧になれます。